

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2024年4月24日
第7号

吹奏楽部が小樽港の式典で演奏



小樽市と小樽開発建設部は4月21日、14万トン級の大型クルーズ船が接岸可能となった小樽港第3号埠頭岸壁の供用記念式典と、国土交通省が認定する地域拠点「みなとオアシス」の登録証交付式を同埠頭の旅客船ターミナルで行った。この日は今年寄港予定の中で2番目に大きい客船「ダイヤモンド・プリンセス」が接岸した。吹奏楽部はこの式典の演奏並びに客船のお客様への歓迎演奏を行い、大きな達成感を得ることができた。(写真は客船の前で)

豪華客船の乗客にも演奏届ける



式典で演奏する吹奏楽部

新体制で式典演奏
国土交通省の副大臣や小樽市長などのVIPが参列する式典において、吹奏楽部はテープカット時にはファンファーレを奏で、「上を向いて歩こう」「We are the World」の2曲を披露した。1年生10名を迎え、24名の新体制になった吹奏楽部、部長の木村花音さん(3-2)は「緊張したが、無事演奏を終え、達成感を得ることができた」と語った。



客船から「ありがとう」の横断幕



クルーズ船に演奏を

客船にも生演奏のおもてなし
また、ダイヤモンド・プリンセス号の寄港に際し、乗客に先の式典の2曲に加え、「学園天国」、「Yasohiメドレー」、「ヤングマン」を演奏した。「We are the World」は世界的によく知られている曲なので、乗客の方も国境を越えて一体感が生まれていたようです。」と演奏に対する手応えを感じていた。風が強く寒い日ではあったが、「お客様にとって良い思い出となるよう練習してきた成果は出せたと思う」と木村さんは振り返った。



手を振ってお見送り



1年生10名も即戦力に

英語の司会、歌で盛り上がり
司会は日本語は菅原陸斗くん(2-3)、英語は小野陽登くん(2-1)が担当した。「ぶっつけ本番だったが、盛り上がりすぎて楽しかった」と菅原くん、「英語での曲の紹介は新鮮な経験でやりがいがあった」と小野くんは語った。
また、「学園天国」を歌った荻野華奈さん(2-3)は「海外の色んな方を巻き込み盛り上がり、自分も楽しく演奏できたと笑顔で語った。」
豪華客船の歓迎演奏は昨年度から三度経験しており、吹奏楽部は今回の式典を含めて演奏を成功させ、大きな達成感を得ている。